

# 沖縄市及び周辺の社会経済状況(その1)

- ✦ 沖縄市は人口125千人(H17国勢調査)を擁し、人口規模では那覇市に次ぐ**沖縄第二の都市**です。また、H7からH17にかけての**10年間で10,500人の人口増**があり、那覇市(10,400人)や浦添市(10,000人)を抜いて**沖縄県内で最も多い人口増**を記録しました。
- ✦ 「人」は地域の活力そのものです。これからの沖縄市の発展を考えたとき、**高いポテンシャルを有している**といえます。

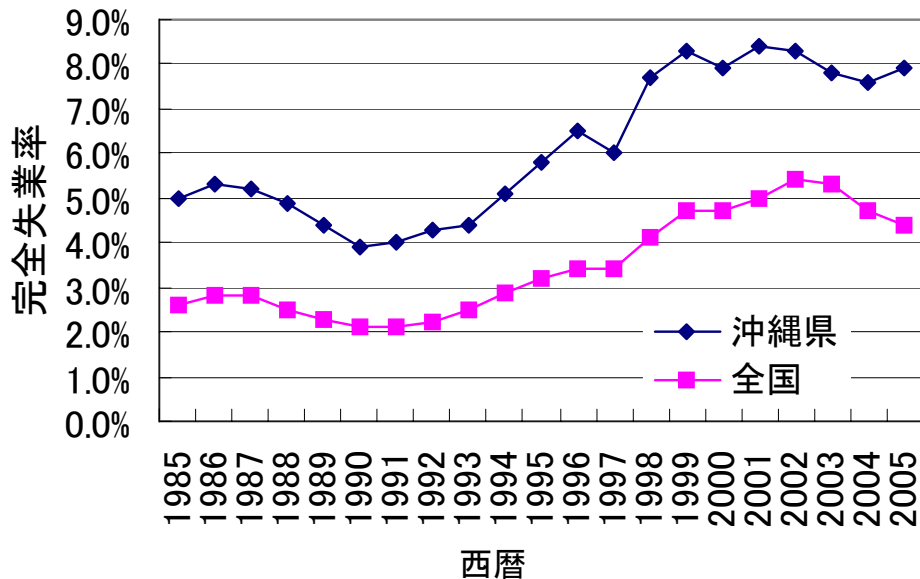
単位:人

市町村名	最近10年間(H7~H17)の人口増	H17の人口
沖縄市	10,533	125,869
那覇市	10,418	312,308
浦添市	10,045	106,047
うるま市	8,346	113,574
豊見城市	7,254	52,507
宜野湾市	6,913	89,775
名護市	5,485	59,440
西原町	5,220	33,736
読谷村	4,389	37,301
石垣市	3,368	45,145
南風原町	3,289	33,538
北谷町	3,127	26,864
糸満市	2,326	55,822
中城村	1,970	15,802
東風平町	1,150	17,088
具志頭村	946	8,041
恩納村	937	9,622
その他市町村	1,674	218,351
沖縄県	87,390	1,360,830

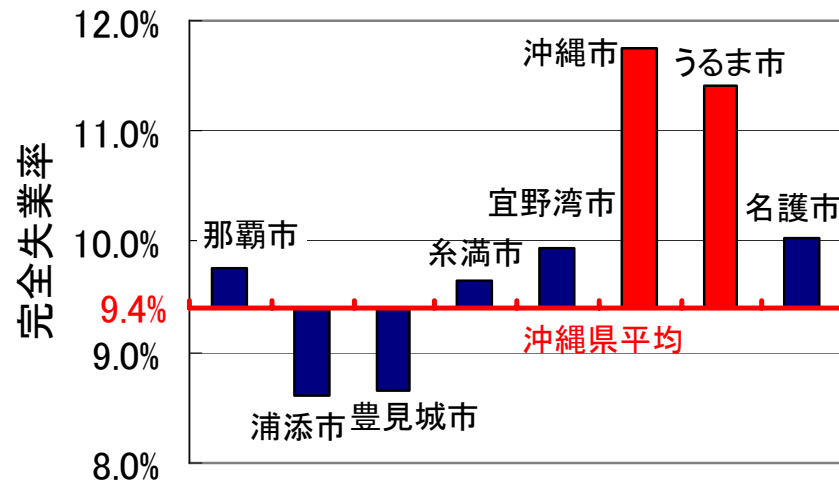
# 沖縄市及び周辺の社会経済状況(その2)

- しかしながら、雇用の面で見ると、沖縄県は全国で最も高い失業率で推移しており、中でも**沖縄市やうるま市の失業率は他市町村に比べてさらに高く、深刻です。**
- 本島中部圏東海岸地域に位置する**沖縄市やうるま市にとって、新たな雇用の場の確保は、他市町村以上に極めて重要な課題**といえます。

完全失業率(年平均)の推移  
(総務省労働力調査ベース)



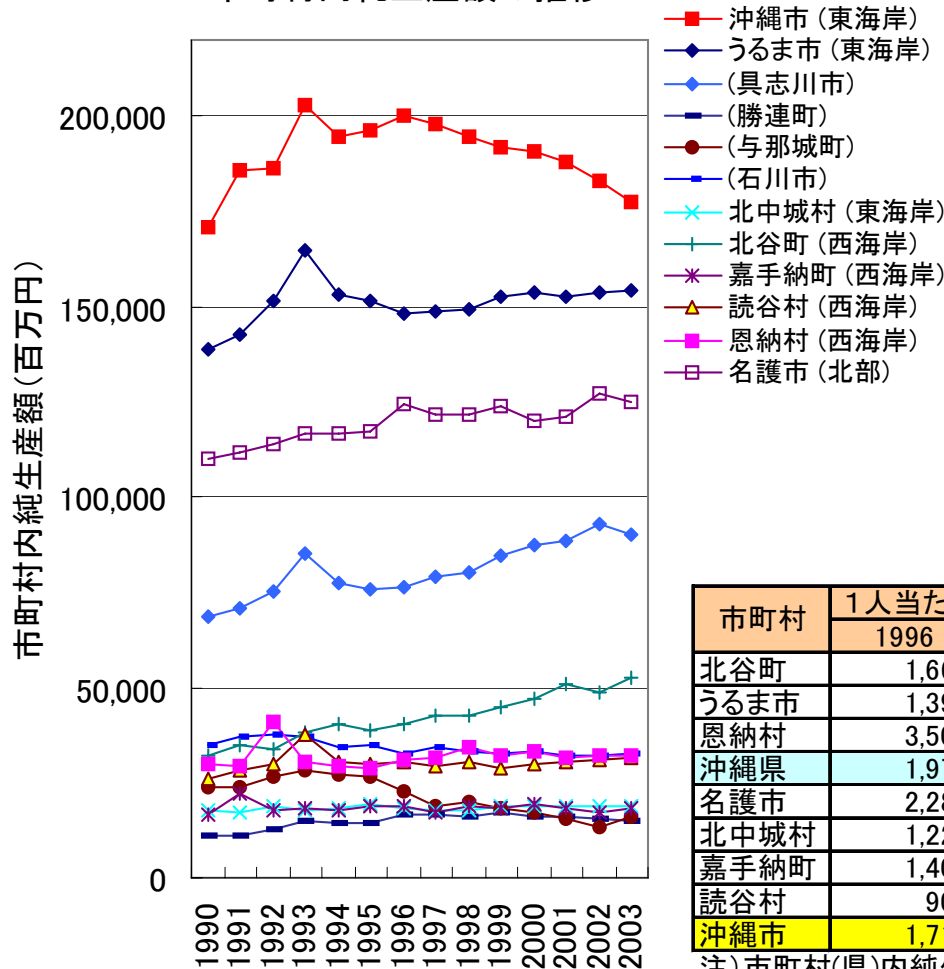
沖縄本島市部の完全失業率比較  
沖縄県平均からの乖離(H12国勢調査:全年齢)



注)失業率に関するH17国勢調査の結果は未だ出ていません。(H18年6月発表予定)

# 沖縄市及び周辺の社会経済状況(その3)

市町村内純生産額の推移



また、沖縄市及び周辺市町村の市町村内純生産額について見てみると、沖縄市は額が多い反面、10年程前から減少傾向が続いています。一方、増加が顕著な市町村は旧具志川市、北谷町などです。

市町村内純生産額や市町村民所得を1人当たりで見ると、その減少は周辺市町村の中で際だっています。

市町村	1人当たり市町村(県)内純生産額		
	1996	2003	伸率
北谷町	1,663	1,988	1.20
うるま市	1,391	1,372	0.99
恩納村	3,505	3,428	0.98
沖縄県	1,970	1,890	0.96
名護市	2,287	2,156	0.94
北中城村	1,228	1,152	0.94
嘉手納町	1,404	1,314	0.94
読谷村	904	844	0.93
沖縄市	1,715	1,424	0.83

市町村	1人当たり市町村(県)民所得		
	1996	2003	伸率
北谷町	2,414	2,607	1.08
嘉手納町	2,496	2,590	1.04
沖縄県	2,096	2,145	1.02
恩納村	2,469	2,453	0.99
北中城村	2,132	2,106	0.99
読谷村	2,048	2,010	0.98
うるま市	1,849	1,800	0.97
名護市	2,065	1,996	0.97
沖縄市	2,097	1,997	0.95

注) 市町村(県)内純生産額、市町村(県)民所得[分配]を各年の沖縄県推計人口で除したものの

注) 沖縄県市町村民所得統計より作成